

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	会社理念や方針について、各種会議や研修等で指導助言を行っているが、まだ、一人一人の職員に浸透していない現状である。	事業所理念を踏まえて、グループホームの原点を振り返り、さらに深めた援助ができるようになる。	①理念や方針を理解するために、ユニット毎に話し合い毎月の目標を立てて、主任会議で実践状況や評価について報告してもらう。 ②毎日のミーティング時に事例を取り上げて、職員一人一人がどの程度理解しているかを確認していく。	6ヶ月
2	23	アセスメントで、ADLの部分はしっかり分析しているが、本人のお思いや意向に関しては不十分である。	利用者の主観を大事にし、本人の思い・痛み・つらさを読み取ることができるようになる。	①利用者・家族にアンケートを実施し、それを基にニーズや意向を確認していく。 ②利用者側の立場に立ち、本人の言葉として表現できるように訓練を行う。	6ヶ月
3	26	アセスメントの段階で把握できていない部分があり、それが支障となり、ケアプランに反映されていない。	利用者の自分らしい生活・意向を捉え、この人の援助計画であると解かるように、援助の方針を立てることができるようになる。	①利用者のできる部分に着目し活きたケア計画に結び付けるように、主任・担当介護員が共同し、計画作成担当者や主任介護員を対象とした学習会を行う。 ②外部講師(ケアマネージャー)を招いて、解かりやすいプラン作りの研修会を開催する。	1ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。